

会 議 録 (1)

会 議 の 名 称	平成30年度第3回入間市環境審議会
開 催 日 時	平成30年11月13日(火) 午前10時00分 開会・正午 閉会
開 催 場 所	市役所5階 501会議室
議 長 氏 名	黒瀧 孝秀
出席委員(者)氏名	黒瀧 孝秀、川名 千鶴子、犬塚 裕雅、加治 隆、木内 勝司、 斎藤 令子、篠塚 玲子、高村 賢二、中村 巖、平塚 尚吾、 森 友和、森谷 秀一
欠席委員(者)氏名	相葉 学、伊藤 雅道、永井 健一
説明者の職氏名	環境課長 田口 雅也 環境課副主幹 中村 裕美子 環境課副主幹 友野 明男
会 議 次 第 (公開・非公開の別)	1 開会 2 会長あいさつ 3 議題 平成29年度における環境の保全及び創造に関する施策の進 捗状況について 4 閉会 (全て公開)
非 公 開 理 由	なし
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	・平成29年度における環境の保全及び創造に関する施策の進捗状 況について(意見) ・平成30年度第2回入間市環境審議会会議録 ・環境市民講座チラシ(東町公民館・西武公民館)
事務局職員職氏名	環境課長 田口 雅也、環境課副主幹 中村 裕美子、 環境課副主幹 友野 明男、環境課主任 田代 正樹
会議録作成方法	要点筆記

会 議 録 (2)

議事の概要(経過)・決定事項

- 1 田口課長の進行で開会
- 2 会長あいさつ
黒瀧会長
- 3 議題
平成29年度における環境の保全及び創造に関する施策の進捗状況について
中村副主幹・友野副主幹
次回の審議会開催日について
友野副主幹
- 4 閉会
川名副会長

会議録(3)

発言者	発言内容
<p>議長(黒瀧会長)</p> <p>中村副主幹 議長</p>	<p>本日の議題であります、「平成29年度における環境の保全及び創造に関する施策の進捗状況について」に審議をいたします。</p> <p>前回の審議会でごいただいた意見をもとに、意見書の原案を作成しました。事務局案を私と川名副会長で確認しております。</p> <p>事務局より原案を読み上げていただきたいと思います。</p> <p>(意見書を読み上げる)</p> <p>この原案は、意見を4点にまとめております。</p> <p>原案の1つ目「市民のニーズにあった環境学習の場を提供する」は、前回の審議会でご意見がありました、「環境アドバイザーとセミナー等の開催を合わせた環境アドバイザーの活躍の場を含めたセミナー等の開催について検討いただきたい」との意見と、「トキを守られた佐渡の方々の努力を認識するような機会を設けていただきたい」との意見をまとめたものです。</p> <p>続いて、原案2つ目の「持続可能なボランティア活動のために」は、加治丘陵山林管理ボランティア団体に関して、「市民ボランティアを既存の団体に入るのではなく、新しい団体を取り入れて活性化できる、モチベーションを維持できるような仕組みを構築していただきたい」との意見から作成しました。</p> <p>CO₂排出に関して、「電力供給契約については価格だけの入札条件ではなくて、CO₂排出係数を考慮した入札も検討していただきたい」との意見が、3つ目の「温室効果ガス排出量の削減に向けて」です。</p> <p>〔中小企業・小規模事業者の環境活動の支援に対しては、インセンティブがあるような取り組みをしていただきたい〕との意見については、4つ目の「企業の環境活動への支援」になっております。</p> <p>この外に前回の審議会でご出された意見が、「浄化槽の維持管理につい</p>

発 言 者	発 言 内 容
中村副主幹	<p>て、適切な監視をお願いしたい] と [外来種は、数年でトレンドが変わっていくので、新しい外来種をモニタリングして対応する仕組みを構築する必要がある] 以上の2つの意見は原案に記載していません。記載しない理由について、事務局から説明をお願いします。</p> <p>〔浄化槽の使用者が適切な維持管理に努めるよう監視をすること〕のご意見でしたが、浄化槽の維持管理に関する指導などは埼玉県に権限があります。入間市では指導を行うことができないため、意見書に加えませんでした。</p> <p>また、〔新しい外来種を監視し対応できるような仕組みを構築することとその対応にあたっては、環境アドバイザーを活用すること〕というご意見をいただきましたが、こちらは駆除する外来種については、外来生物法の規定により国が専門家の意見を聴き指定することになっています。</p> <p>したがって、入間市が新しい外来種の監視や駆除すべき外来種に指定することはできません。</p> <p>また、環境アドバイザーを外来種の監視に当たらせることは、環境アドバイザーの目的と異なることから、本意見を記載することは適当でないと考え、意見書に加えませんでした。</p>
議長	<p>事務局の説明の1点目、浄化槽についてはその指導権限が県にあること、2点目の外来種の指定は国の権限であり、その外来種が駆除の対象とならなければ鳥獣保護法で問題になる。以上の理由から意見書に記載していませんが、ご意見はありますか。</p>
犬塚委員	<p>入間市が主体的に関わることが出来なくても、県や国から発信される情報に注意していく姿勢は必要と思います。国または県の権限だから市は無関係では、市民は納得しないと思います。環境審議会としては、市民の目線を踏まえて、より良い環境のまちづくりを進めていくという観点から、県の権限でも市も見てください。国の権限であれば、情報を注意して見てくださいなど、意見書に加えてもよいのではないのでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
篠塚委員	<p>意見書には、5つ目「その他」として意見とは異なり、市も注視してくださいと言った表現で良いと思います。</p> <p>犬塚委員の意見に賛成です。自分たちの住む場所や暮らしの中で、私達が入間市のことをどう考えていくか、また、自然を大切にするとことを強調していただきたい。</p>
議長	<p>この2つの意見については、市として国や県とコミュニケーションを図って、発信される情報に注視していただきたいという内容を審議会の意見としてはいかがでしょうか。</p>
田口課長	<p>浄化槽に関して、指導権限が県だから市が全く関与しないことはありません。市も県と連携をとり監視や指導は行っております。また、外来種の指定は市で行えませんが、現在入間市で大きな問題になっているアライグマなどの駆除は、基本施策の目標にもありますが、入間市で行っております。権限が県や国だからと言って、市が何も行わないということではありませんので、ご理解ください。</p>
議長	<p>犬塚委員は、市の活動を理解されたうえで、あえて意見を加えたいとのことです。</p>
犬塚委員	<p>過去に市長に提出した意見書に本題の後に『なお書き』で、補足文章を加えたことがあります。</p> <p>例えば、きれいな水を守るという項目に関して、“浄化槽は、適切な管理が必要であることから、市民の協力と理解を図りながら”など、書き方があるのではないかと思います。外来種についても同じくなお書きで、市民に呼び掛ける内容を、加えてはいかがでしょうか。</p>
議長	<p>補足する形式です。</p>
森委員	<p>規制をかけるのではなく、市民への啓発を強めることを、入間市にお願いしたい。</p>
犬塚委員	<p>普及啓発とは誘導です。およそ政策には規制と誘導と緩和の3つがセットになると思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
	<p>ただ、浄化槽と外来種については市に権限がありませんので、普及啓発を含めた誘導を行っていただきたいということです。</p>
木内委員	<p>森委員と犬塚委員の意見に賛成です。私も浄化槽と外来種の啓発に関する一文を加えたほうが良いと思います。</p>
議長	<p>結論としては、何らかの形で意見書に加えることにします。追加文については、意見書を一通り審議した後で追加分を作成して、再度審議といたします。</p>
	<p>【1 市民ニーズにあった環境学習の場を提供する】</p>
犬塚委員	<p>“佐渡市民が行っている”の前に、“姉妹都市”を加えてはいかがでしょうか。</p> <p>《他に意見等無し。「姉妹都市」を追加し、次の意見の審議に移る》</p>
	<p>【2 持続可能なボランティア活動のために】</p>
森委員	<p>私はこの内容で構わないと思います。ただ、加治丘陵山林ボランティア団体の方がこの意見書をご覧になったときの心情が気掛かりです。</p>
中村委員	<p>(加治丘陵山林ボランティア団体の講習会に関する感想を述べられた。)</p>
	<p>《他に意見等無し。次の意見の審議に移る》</p>
	<p>【3 温室効果ガス排出量の削減に向けて】</p>
議長	<p>この意見は、昨年の意見と同じ内容になっていますが、改めて審議会の意見として、この内容でよろしいですか。</p> <p>《他に意見等無し。次の意見の審議に移る》</p>
	<p>【4 企業の環境活動への支援】</p>
犬塚委員	<p>この原案ではあっさり過ぎて、限られた経営資源の中で環境活動を続ける企業の努力がわからないと思います。例えば、“入間市内の企業は、環</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>境活動に対して色々と努力されています。その企業の環境活動を促進する支援策としては、今のままでは不十分です。様々な商工業施策と連携して支援いただきたい”このような意見ではないでしょうか。</p> <p>関係者の方は、原案のままで十分と思うかもしれませんが、企業の頑張りを押さえたほうが良いと思います。</p> <p>私も犬塚委員と同じことを考えていました。前回の審議で、環境フェアに出展している企業は入間市工業会の役員企業に片寄っていること、入間市商工会の工業部会に約300社の登録があって、活動の幅を広げられる支援を求めるとありました。</p> <p>ですから、犬塚委員が言われたように、環境活動を行なっているけども、草の根まで広げるようなことをやって欲しいという内容を付け加える必要があるかなと私も思いますので、そのような内容を追加します。</p> <p>他にご意見のある方はいらっしゃいますか。</p>
木内委員	<p>工業会は、4、5年ほど前から環境フェアに参加され、各社の環境への取り組みを展示しています。環境フェアに来場された方は、企業の環境活動について理解されたと思います。</p> <p>意見書を市民の目線で見たととき、企業が環境活動をどの位すべきかわからないと思いますので、このあっさりとした表現は、差し障りがなくて良いと思います。</p>
高村委員	<p>取り組みのご紹介ですが、工業会では初の取り組みとして、オープンファクトリーを企画しています。来年8月に小学生も含めて見学いただこうと考えています。</p>
議長	<p>我が社も同じような取り組みを行っております。岐阜県関市の工場では夏休み期間中に「関の工場参観日」として、工場見学を行っております。この取り組みは、各地に広がりつつあります。</p>
篠塚委員	<p>私は環境フェアに行って、市内の企業がこのように参加していることを知った1人です。ですので“市で行っている様々な商工業施策と連携し</p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>で”の文章の前に“環境フェアでもあるように”など加えると、どの様に市に関わってもらいたいのか分かると思います。</p> <p>企業の活動に対して、入間市はどのように関わりを持つか。この意見を加えることでよろしいでしょうか。</p>
犬塚委員	<p>今の取り組みは、ものづくり企業中心の取り組みになっているので、サービス業や商業など分野を広げて、活性化の取り組みを広げていきたいというのが論点の一つだと思います。そのように捉えると意見は、“市内の企業の環境に対する取り組みはものづくり企業を中心に行っておりますが、企業の環境活動を更に促す支援策として、市で行っている様々な商工施策と連携しものづくりやサービス業など様々な業種の企業が環境活動に取り組めるように支援していきます。”このようなニュアンスの意見がよろしいかと思えます。</p>
議長	<p>会長と副会長、事務局で意見を再考されるのであれば、お任せします。</p> <p>浄化槽と外来種の意見と併せて後ほど、副会長と事務局と打合せを行います。</p> <p>今の犬塚委員の意見は、“市の支援活動はものづくり企業に片寄っている。サービス業などにも拡大できるような係わりを”ということによろしいでしょうか。</p>
犬塚委員	<p>企業経営の考えもありますが、環境活動の取り組みを促すには市の支援が必要と思えます。</p>
議長	<p>全体的な表現は変わりませんが、対象業種を拡大する方向で意見案を作成します。</p>
議長	<p>《休憩、追加意見及び4の意見案を作成》</p> <p>再開します。</p> <p>ただいま、頂いた意見を基に意見書を修正しました。初めに事務局に読み上げていただきます。</p>

発 言 者	発 言 内 容
友野副主幹	(意見書「1 市民のニーズにあった環境学習の場を提供する」の箇所を読み上げる)
議長	「1 市民のニーズにあった環境学習の場を提供する」の意見は、この内容でよろしいでしょうか。 ≪各委員了承≫
友野副主幹	(意見書「2 持続可能なボランティア活動のために」の箇所を読み上げる)
議長	「2 持続可能なボランティア活動のために」の箇所について、改めてご意見を伺います。
木内委員	“現実的に困難です”では、言い過ぎと思いますので、“現実的に困難なことが多いと言われています”に変更してはいかがでしょうか。
中村委員	私は、“ <u>ボランティア団体は全国的に見ても、結成当時のメンバーのまま入れ替わりもなく活動を継続し、メンバーの高齢化とともに活動が衰退していくことが一般的で、新たにボランティアを希望する人が既存団体で活動することは現実的に困難です。ボランティアのモチベーションを維持し活動を持続していくためには、新たなボランティア団体を受け入れ、新陳代謝を図ることが必要です。</u> ”この文章は不要と思います。この意見書は市長に答申するわけで、具体的なことは各々で検討すれば良いことであり、細かいことを書く必要はないと思います。
森谷委員	中村委員の意見に賛成です。
森委員	私もそれが心配でした。
木内委員	この文章がないと、何故ボランティアのモチベーションを維持する必要があるのかその背景が分かりませんし、最後の文章に繋がりません。
犬塚委員	この文章は、全国的なボランティア団体の傾向について述べたものですが、その前に加治丘陵のボランティア団体について述べているため、加治丘陵のボランティア団体も同じ傾向にあると読めます。
議長	文章の順番を入れ替えてはいかがでしょうか。

発 言 者	発 言 内 容
犬塚委員	<p>ですが、実際には加治丘陵のボランティア団体も、全国的なボランティア団体の活動傾向と同じではないのでしょうか。</p>
木内委員	<p>中村委員の言われることも分かりますが、加治丘陵のボランティア団体が悪いと言っている訳ではなく、どのボランティア団体にも共通する全国的な事なので、この文章は残していただきたい。</p>
議長	<p>一般的なボランティア団体の活動傾向を述べて、現状の入間市のボランティア団体の活動状況を述べて、審議会の意見を述べる構成に変更したいと思いますが、いかがでしょうか。</p>
木内委員	<p>それでは意見が弱くなると思います。「持続可能なボランティア活動のために」とは、加治丘陵のボランティア団体のことなので、あえて全国的な傾向の説明を省いて、“加治丘陵で活動する14団体はメンバーの高齢化などにより活動が低下している。市にボランティア団体を増やす方針は無く、ボランティア希望者に既存団体への加入を押し勧めているがその方針は誤りです。新たなボランティア団体の参加を受入れてください。”と言った方が、ストレートに伝わるのではないのでしょうか。一般論でいうより加治丘陵に的を絞った方が良いと思います。</p>
篠塚委員	<p>“新陳代謝を図る”というのが、以前から活動を続ける方は気になるのだと私は思います。“ボランティア団体を受け入れていくことが必要です”のような文章に変更してはいかがでしょうか。</p>
中村委員	<p>“ボランティア団体は全国的に見ても”の部分も、気になります。</p>
平塚委員	<p>第三者の立場で見ますと、ボランティア団体の風潮など分からないと思います。この文章は、意見書を読んだときに入間市のボランティア団体も同じ傾向にあるのかなと想像できると思いますので、この文章を残したまま市長へ提言しても、問題はないと思います。</p> <p>お集まりの委員の中には、このボランティア団体に近い立場の方もおられるのでより実感があるのかもしれませんが、1歩引いたところから見ると、この意見でよろしいのかと思います。</p>

発 言 者	発 言 内 容
木内委員	<p>色々議論はありましたが、原案のままで良いと私は考えています。なぜなら、重要なのは意見にある“加治丘陵を次世代へ継承していく”です。そのためには、ボランティア団体数を増やさず現状を維持する市の方針では、ダメですと言っているわけです。</p> <p>市の方針に対する意見であって、既存団体をダメだと言っているわけではありません。</p> <p>既存のボランティア団体を維持していくことが、今後の予定となっています。というこの方針を変えてくださいというのが、この審議会の意見ですので、絶対外せないと思います。</p>
中村委員	<p>結局、私が言った箇所は、削除しないで残るということでしょうか。あくまでもこれは市長に対する答申なので、細かい事まで書く必要はないと思います。</p>
犬塚委員	<p>団体の自治権は団体のものです。これは、市の方針を変えてもらうという意見です。市の方針を変えるためには、その筋道を作らなければ変わりません。</p>
木内委員	<p>団体数が14団体までで、新しい団体は作らないと言っているのも、それはおかしいという意見です。</p>
犬塚委員	<p><u>“加治丘陵山林ボランティア団体は、既存のボランティア団体を維持していくことが、今後の予定となっています。”</u></p> <p><u>しかし、新たにボランティアを希望する人が、既存団体で活動することは、現実的に難しい場合が多く、ボランティアのモチベーションを維持し、活動を継続していくために、新たなボランティア団体を受け入れ新陳代謝を図ることが必要です。</u></p> <p><u>このことから、加治丘陵を次世代へ継承していくため、加治丘陵山林ボランティアの活動を希望する人が、仲間を募り新たな団体を結成して活動できるような方策を検討していただきたい。”</u></p> <p>この内容ではいかがでしょうか。</p>

発 言 者	発 言 内 容
中村委員	なぜ活動することが困難なのかわかりません。
木内委員	市民団体に参加している方は分かると思いますが、第三者から見ると何故だと思います。
議長	このまま議論を続けても意見は平行線のままです。妥協点を作りたいと思います。
木内委員	中村委員は、既存団体が頼りないから新しい団体を受入れいなさいと言っているように思えるから、この意見ではダメだということでしょうか。
議長	この文章では、活動されている団体が何もやっていないように思えます。
木内委員	意見の趣旨としては、団体数を制限せず、新しく活動したい人が、新しく団体活動ができるようにしてはどうかと、それだけでもいいと思います。
中村委員	先ほど言いましたが、“全国的な傾向”と“新陳代謝を図ることが必要”の箇所は必要なのでしょうか。
議長	<p>審議会の意見として大事なのは、ボランティア活動を永続的に持続できるような方針を考えていただきたいということです。</p> <p>その目的を達成するための一つとして、新しくボランティア活動を希望されている方が、既存の団体で活動することに抵抗があるので、新たな団体を作ってもらいたいというのが議論の始まりです。</p> <p>したがって、なぜ新陳代謝が必要なのか、永続的に活動する為には、市にどのようなことを行っていただきたいかと意見するため、その背景を説明しなければ市長もわかりません。</p>
中村委員	議長が言われる、既存のボランティア団体が新しい人を拒否しているようなニュアンスですが、私には理解できません。
斎藤委員	解釈が反対です。既存のボランティア団体の方は受け入れると思います。しかし、新しい人達が自分達でもボランティア団体立ち上げたいと思っても、市の方針では新しい団体は作らない。既存の団体に入っても、新

発 言 者	発 言 内 容
森委員 議長	<p>しい団体を作ってもどちらも可能にしたらどうでしょうかと、言っているのです。</p> <p>ですので、既存の団体が拒否しているとは読めません。</p> <p>私もよく読めば違うことはわかりますが、一見すると、既存の団体が拒否しているように読めると思います。</p> <p>前回の議事録をご確認いただきたいのですが、川名副会長の発言に、現実には新たな団体の立ち上げを希望されて、既存団体に参加することを拒む人がいたということです。ですからこの意見がそのように読み取られても審議会の意見として、入れる必要があると思います。</p> <p>そうしなければ何も変わらないですし、この先も今の状況が続くとも成りかねません。</p> <p>繰り返しになりますが、当審議会では、既存の団体の活動に対して述べているのではなく、加治丘陵の持続可能な状況で活動していただくためには、このようなことを考えていただかないとなりません。という意見です。そこは中村委員にもご理解をいただきたいと思います。</p> <p>〈最終修正〉</p> <p><u>“加治丘陵山林ボランティア団体について既存の団体を維持していくことが、市の施策となっています。</u></p> <p><u>しかし、新たにボランティアを希望する人は既存団体で活動することに抵抗があり、ボランティアのモチベーションを維持し、持続可能な活動をしていくためには、新たなボランティア団体を受け入れ、新陳代謝を図ることも必要です。</u></p> <p><u>このことから、加治丘陵を次世代へ継承していくため、加治丘陵山林ボランティアの活動を希望する人が、仲間を募り新たな団体を結成して活動できるような方策を検討していただきたい。”</u></p>

発 言 者	発 言 内 容
議長	それではこの内容でよろしいでしょうか。
森委員	<p>《中村委員を除く委員が了承。次の意見の審議に移る》</p> <p>中村委員は「うん」と言っていないことを、記録に残してください。</p>
友野副主幹	(意見書「3 温室効果ガス排出量の削減に向けて」の箇所を読み上げる)
友野副主幹	《修正、変更の意見なし。各委員了承》
友野副主幹	(意見書「4 温室効果ガス排出量の削減に向けて」の箇所を読み上げる)
木内委員	“環境フェアで紹介する支援のみであります”が、環境まちづくり会議の活動などで企業の紹介を行っていますので、“支援のみ”よりも“支援など”がよろしいかと思えます。
議長	<p>それでは、“支援など”に変更します。</p> <p>この意見で言いたいのは、支援の対象業種を広げてくださいということです。</p> <p>《ほかに修正、変更の意見なし。》</p>
議長	最後に、意見をいただきました浄化槽と外来種について、「その他」ではなく『なお書き』で追加しましたので、事務局に読み上げてもらいます。
友野副主幹	(事務局、追加文章の読み上げ)
議長	<p>この文章を追加しますが、いかがでしょうか。</p> <p>《修正、変更の意見なし。各委員了承》</p>
議長	それでは、この了承いただいた内容で、市長に意見書を提出したいと思います。

発 言 者	発 言 内 容
議長	<p>提出につきましては、川名副会長と私が市長にお渡しいたします。日程については事務局に一任いたします。</p> <p>では、次回の日程について事務局よりお願いいたします。</p> <p>《調整の結果、1月28日（月）の午後に決定》</p>
議長	<p>以上で本日の議事は全て終了いたしましたので、これで議長の座を降ろさせていただきます。ありがとうございました。</p>
川名副会長	<p>(閉会あいさつ)</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきことを証するためここに署名する。</p> <p>平成30年12月6日</p> <p>議 長 の 署 名 黒 瀧 孝 彦</p> <p>議長が指名した者の署名 川 名 千 鶴 子</p>	

